

KOGA ELECTRONICS CO.

SS7 Monitor 用ソフトウェア

CS アナライザ

取扱説明書

Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

MMX および Pentium は Intel Corporation の登録商標、または商標です。

第 1 版	2006/7	
第 2 版	2006/8	P.1 動作環境「対応 OS」変更
第 3 版	2007/10	Ver.0.5.0 新機能分追記
第 4 版	2008/12	Ver.0.5.3 変更分修正
第 5 版	2009/10	Ver.0.6.0 SS7 Monitor (T1) 対応
第 6 版	2009/11	Ver.0.6.1 変更分修正
第 7 版	2010/5	Ver.0.8.4 変更分修正

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製することを禁止します。

このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取替え致します。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

目次

動作環境.....	1
第 1 章 はじめに	2
インストールの前に	2
CS アナライザのインストール	2
CS アナライザのアンインストール.....	4
第 2 章 基本的な使い方	5
ご使用になる前に	5
CS アナライザの起動と終了.....	5
各部の名称と働き	6

動作環境

- 対応 OS
Microsoft Windows XP
- ハードウェア環境
Pentium4 1.8GHz 以上のマイクロプロセッサ(または互換プロセッサ)を
搭載し、CD-ROM ドライブ、ネットワークポートを有する IBM PC/AT 互換機
- メモリ
256MB 以上
- ハードディスク
500MB 以上のハードディスク空き容量
- ディスプレイ
SVGA(800 × 600 ピクセル)以上

注意 必要なメモリ容量、ハードディスク容量はシステム環境によって異なる場合があります。

第1章 はじめに

WERK BOX SS7 Monitor をお使いいただき、誠にありがとうございます。
第1章では、CS アナライザのインストール手順について説明します。

インストールの前に

CS アナライザをインストールする前に、1 ページの「動作環境」を参照して、インストールするコンピュータの動作環境を確認してください。

CS アナライザのインストール

1. インストールプログラムを起動する

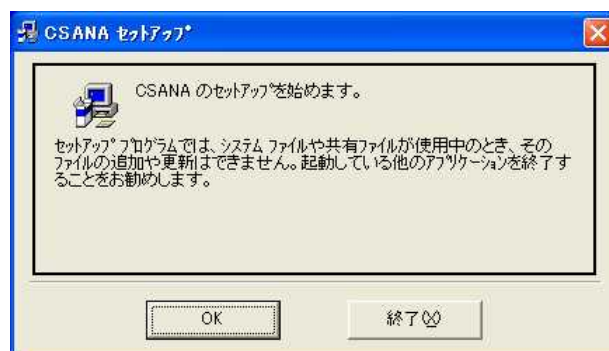
起動中のアプリケーションを全て終了してください。

CS アナライザの CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

「マイコンピュータ」から、挿入した CD-ROM の「CSAnaSetup」フォルダにある「Setup.exe」プログラムを起動してください。

2. セットアップを開始する

CS アナライザのセットアップが開始され、右の画面が表示されます。
[OK]ボタンを押してください。

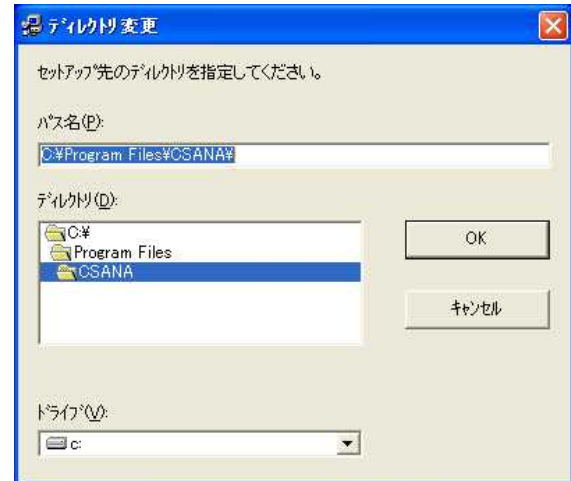


3. インストール先を選択する
インストール先を選択する画面が表示されます。
通常「C:\Program Files\CSANA\」にプログラムがインストールされます。

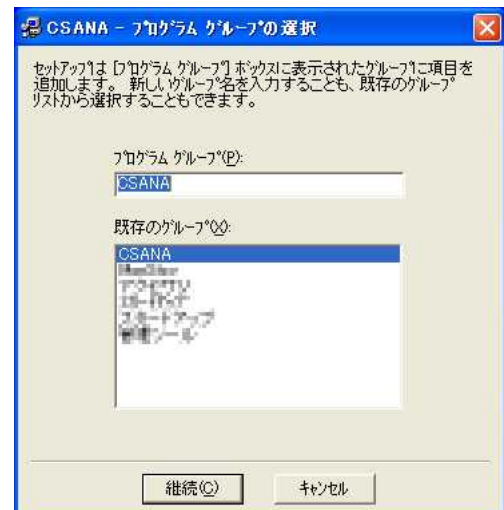


インストール先を変更する場合は[ディレクトリ変更]ボタンを押してください。
ディレクトリ(フォルダ)変更画面でプログラムをインストールするフォルダを選択し、[OK]ボタンを押してください。

インストール先が決定したら、セットアップのボタンを押してください。

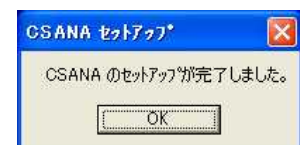


プログラムグループの選択画面が表示されます。[継続]ボタンを押してください。



4. コピーの開始
プログラムをコンピュータにコピーします。

5. インストールの完了
インストールが完了したことをお知らせする画面が表示されます。
[OK]をクリックするとインストールが完了します。



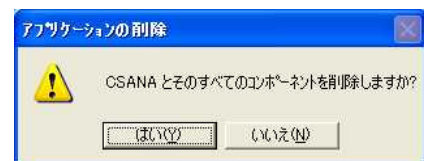
CS アナライザのアンインストール

1. CS アナライザを終了します。

Windows の「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」の順に選択します。「プログラムの追加と削除」を起動します。一覧から「CSANA」を選択し、[変更と削除] ボタンを押してください。



2. CSANA の削除を確認する画面が表示されます。 削除する場合は[はい]を押してください。



第2章 基本的な使い方

第2章ではCSアナライザの基本的な使い方を説明します。

ご使用になる前に

CSアナライザは、SS7 Monitor を制御するためのソフトウェアです。

ソフトウェアを起動する前に、CSアナライザのインストールされたコンピュータのネットワークポートとSS7 MonitorのLANポートをクロスケーブル等で接続し、SS7 Monitorの電源をONにしてください。

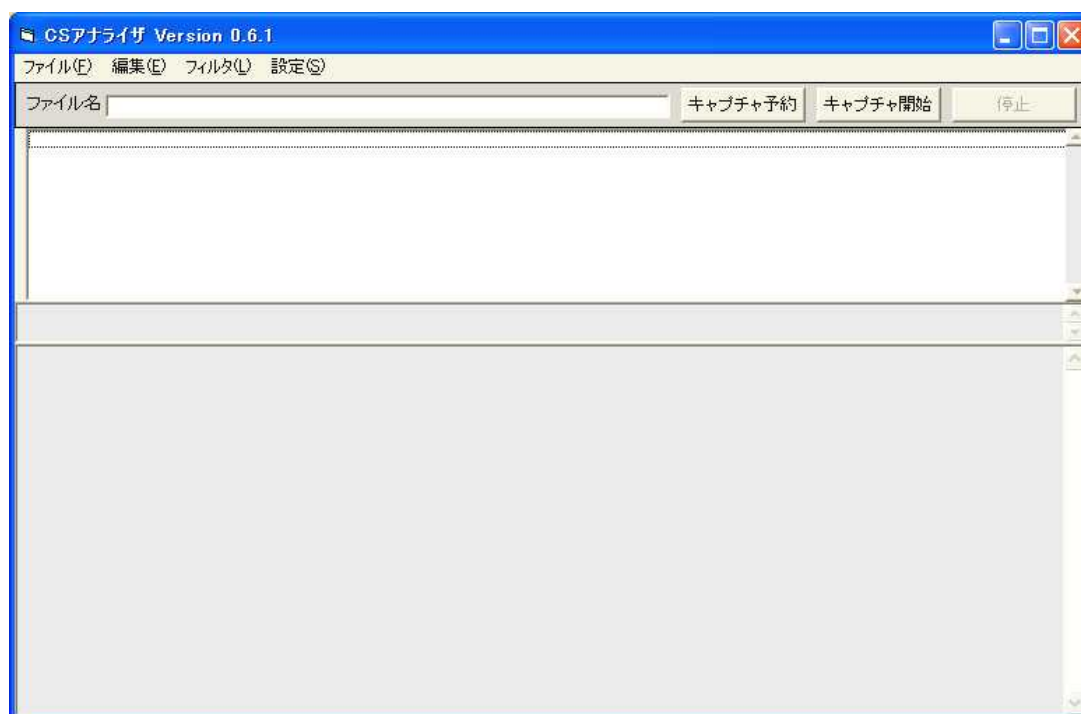
また、SS7 Monitorのモニタ回線接続コネクタに、回線を接続してください。

CSアナライザの起動と終了

1. プログラムの起動

Windowsの「スタート」メニューから「プログラム」 「CSANA」の順に選択します。

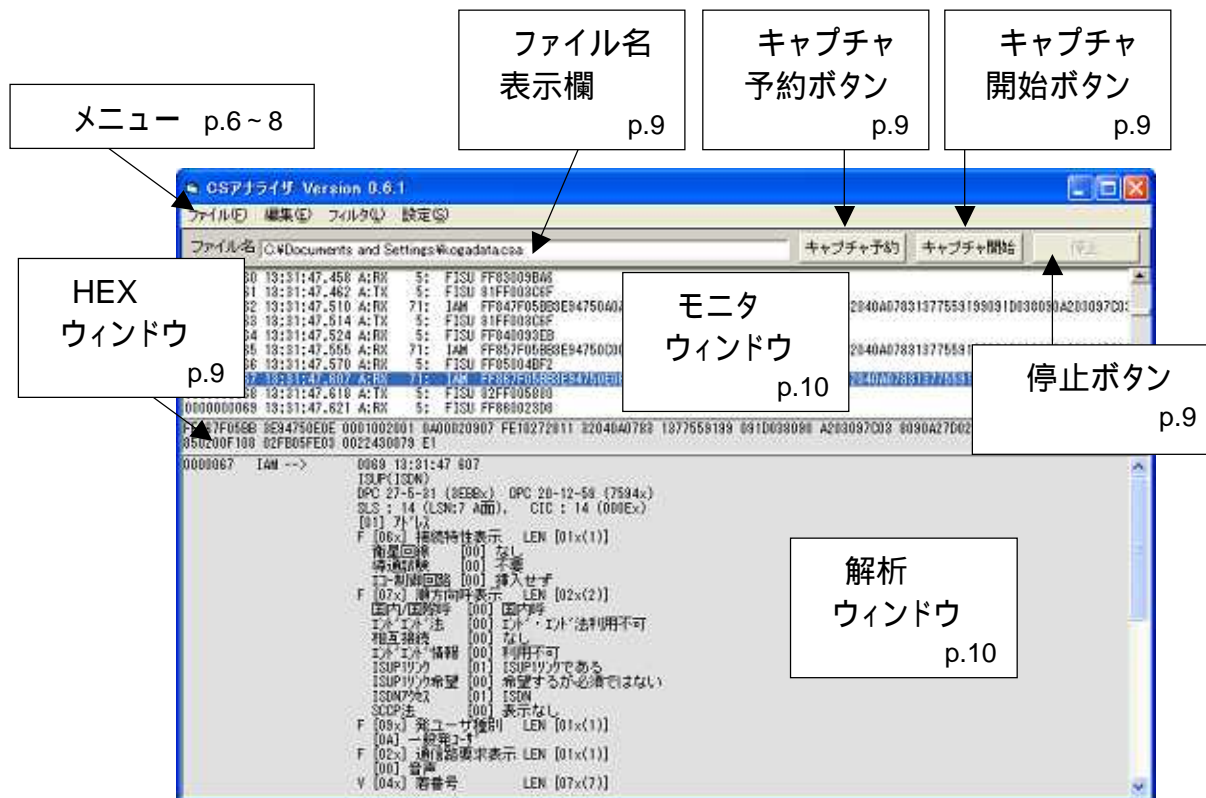
下のような起動画面が表示されます。



2. プログラムの終了

「ファイル」メニューから「終了」を選択します。または右上の[×]ボタンを押してください。

各部の名称と働き



メニュー **ファイル(F) 編集(E) フィルタ(L) 設定(S)**

ファイル

- ・キャプチャ開始 : データのキャプチャを開始します。
- ・開く : 「.csa」ファイルを開きます。
- ・保存 : 保存データ選択ダイアログより、保存データを選択し、「保存」ボタンを押します。



- ・印刷 : モニタウィンドウで選択したデータをプリンターに印刷します。

・変換 :

MLMON ファイルの読込 : 弊社別製品の SS7 Simulator 用アプリケーション「MLMON」のキャプチャデータを読み込みます。

HEX フォーマットファイルの出力 : HEX フォーマットでデータを保存します。
(テキストファイル)

日本語解析ファイルの出力 : 解析ウィンドウの内容を保存します。
(テキストファイル)

・終了 : CS アナライザを終了します。

編集

・検索 : キャプチャデータを検索することができます。

1. 検索 16 進文字列を入力します。
2. 検索範囲のオクテット数を指定します。
3. 検索開始位置を選択します。
4. 対象メッセージ欄より、「全てのメッセージ」「全ての MSU」「選択する」のいずれかをクリックします。「選択する」をクリックすると、下のチェックボックスとメッセージが表示されますので、検索するメッセージを選択します。
5. IAM がチェックされている時に限り、発番号・着番号で検索する事が可能です。
6. 「検索」ボタンを押すと検索を開始します。

検索

検索16進文字列

検索範囲 オクテット ~ オクテット

検索開始位置
 先頭から
 現在位置から

対象メッセージ
 全てのメッセージ 全てのMSU 選択する

<input checked="" type="checkbox"/> IAM	<input type="checkbox"/> SAM	<input type="checkbox"/> FOT	<input type="checkbox"/> CCR	<input type="checkbox"/> LPA	<input type="checkbox"/> COT	<input type="checkbox"/> ACM	<input type="checkbox"/> CPG	<input type="checkbox"/> ANM	<input type="checkbox"/> CON
<input type="checkbox"/> SUS	<input type="checkbox"/> RES	<input type="checkbox"/> REL	<input type="checkbox"/> RLC	<input type="checkbox"/> BLO	<input type="checkbox"/> BLA	<input type="checkbox"/> UBL	<input type="checkbox"/> UBA	<input type="checkbox"/> CGB	<input type="checkbox"/> CGBA
<input type="checkbox"/> CGU	<input type="checkbox"/> CGUA	<input type="checkbox"/> RSC	<input type="checkbox"/> GRS	<input type="checkbox"/> GRA	<input type="checkbox"/> CQM	<input type="checkbox"/> CQR	<input type="checkbox"/> UCIC	<input type="checkbox"/> CHG	<input type="checkbox"/> INR
<input type="checkbox"/> INF	<input type="checkbox"/> FAC	<input type="checkbox"/> FAR	<input type="checkbox"/> FAA	<input type="checkbox"/> FRJ	<input type="checkbox"/> IDR	<input type="checkbox"/> IRS	<input type="checkbox"/> USR	<input type="checkbox"/> CFN	<input type="checkbox"/> PAM
<input type="checkbox"/> NRM	<input type="checkbox"/> OLM	<input type="checkbox"/> SGM	<input type="checkbox"/> UPT	<input type="checkbox"/> UPA					
<input type="checkbox"/> FISU	<input type="checkbox"/> LSSU								

発番号/着番号

発番号 :

着番号 :

検索 キャンセル

・次を検索 : 検索ダイアログで指定した条件にあてはまる次のデータにジャンプします。

フィルタ

・フィルタ設定 : キャプチャデータを抽出することができます。

1. 「フィルタ設定」ダイアログより、抽出する条件をクリックします。
2. DPC コードは、MSU 形式又は HEX 形式どちらでも入力する事が可能です。
3. タイムスタンプによる抽出をおこなう場合、タイムスタンプ欄より時間を指定します。
4. 「設定実行」ボタンを押すと、フィルタリングを開始します。

「設定保存」ボタンを押すと、現在の抽出条件を保存することができます。
「設定呼出」ボタンを押すと、以前に保存した抽出条件を呼び出すことができます。

フィルタ設定

FISU LSSU

DPC

DPC[1]: 1-0-0 0001 DPC[4]: *-*- * 0000

DPC[2]: 2-0-0 0002 DPC[5]: *-*- * 0000

DPC[3]: *-*- * 0000 DPC[6]: *-*- * 0000

ISUP

ACM ANM BLA BLO CCR CFN CGB CGBA CGU CGUA

CHG CON COT CPG COM CQR FAA FAC FAR FOT

FRJ GRA GRS IAM IDR INF INR IRS LPA NRM

OLM PAM REL RES RLC RSC SAM SGM SUS UBA

UBL UCIC UPA UPT USR

全てを選択 全てを解除

CIC

CIC[1]: 0 ~ 0 CIC[4]: 0 ~ 0

CIC[2]: 0 ~ 0 CIC[5]: 0 ~ 0

CIC[3]: 0 ~ 0 CIC[6]: 0 ~ 0

信号網管理信号 タイムスタンプ

信号網試験保守信号 自 00 : 00 : 00 ~ 至 23 : 59 : 59

設定呼出 設定保存 設定実行 キャンセル

設定

・ネットワーク設定 : モニタ本体の IP アドレスとポートを設定します。

ネットワーク設定

装置 IP アドレス 192.168.0.1

装置ポート番号 9020

設定 キャンセル

・キャプチャ設定 : FISU、LSSU を間引きます。

キャプチャ設定

FISU, LSSUを間引く

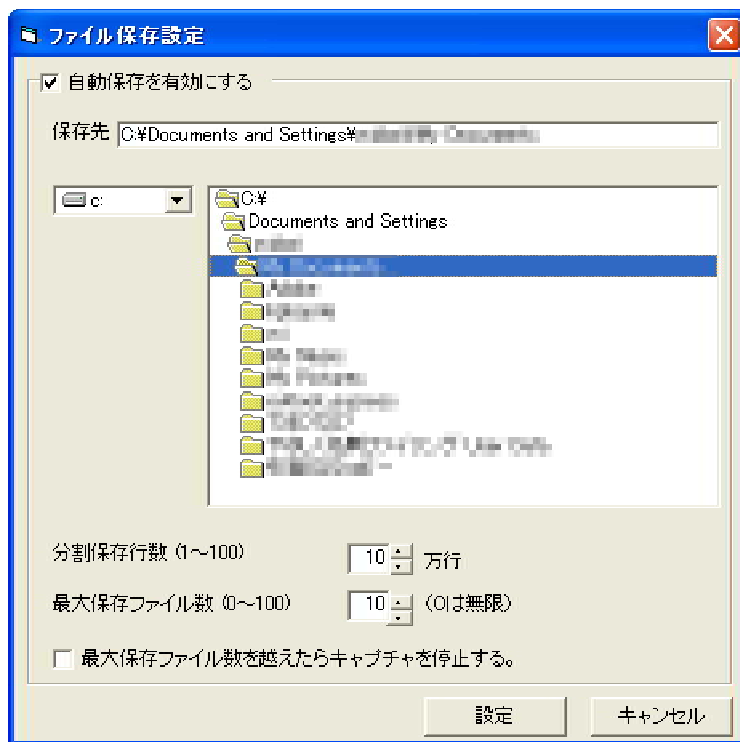
OK

・I/F 設定 :



- CII/T1 : 接続している装置の種類を選択いたします。
CII 選択の場合は、TS 選択はグレー表示となります。
- TS (1 ~ 24) : モニタする TS を選択します。
- 64/48 Kbps : モニタする信号速度を選択します。

・保存ファイル設定 :



自動保存を有効にする:

本項目にチェックを行なうと、キャプチャ時にデータを自動保存します。

チェックが無い場合は、以下項目がグレーとなります。

自動保存が無効の場合、最新の 100 万行まで保存されます。

仕様により 100 万行より数行増えることがあります。

保存先:

ファイルを自動保存するフォルダを指定します。

デフォルトは、「My Documents」となります。

保存ファイル名は、「YYYYMMDDHHMMSS.csa」で、タイムスタンプは、ファイルをオープンした時刻となります。

分割保存行数(1~100) :

保存ファイルの行数が設定された行数になると、ファイルを閉じ、新しいファイルを作成いたします。

仕様により設定した行数より数行増えることがあります。

最大保存ファイル数(0~100) :

分割保存されるファイルの数を設定します。

設定されたファイル数を超えると、古いファイルが削除されます。

“0”を設定した場合は、ハードディスクの容量が無くなるまでファイルを成いたします。

ハードディスクの容量にご注意下さい

最大保存ファイル数を越えたらキャプチャを停止する:

本項目にチェックを行なうと、最大保存ファイル数を超えた場合、古いファイルを削除せず、キャプチャを停止いたします。

自動保存中は、メニューバーに「<<自動保存中>>」が表示されます。

ファイル名表示欄

ファイル名

開いているファイルの名称を表示します。

「キャプチャ予約」ボタン

キャプチャ予約

「キャプチャ予約」ボタンを押すと次のダイアログが表示されます。



開始時刻・終了時刻を設定し、「予約実行」ボタンを押すと、指定時間にキャプチャをおこないます。

「キャプチャ開始」ボタン

キャプチャ開始

データのキャプチャを開始します。

「停止」ボタン

停止

データのキャプチャを停止します。

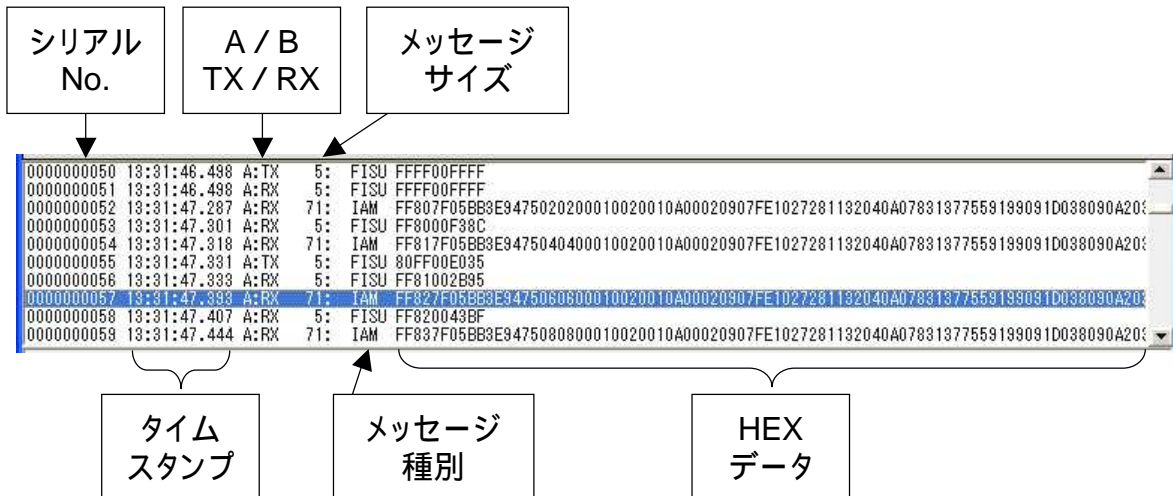
HEX ウィンドウ

HEX データを 5 オクテット区切りで表示します。

```
FF827F05BB 3E94750606 0001002001 0A00020907 FE10272811 32040A0783 1377559199 091D038090 A203097C03 8090A27D02 9181FD0481  
850200F108 02FB05FE03 002243007E 7D
```

モニタウィンドウ

モニタしたデータを表示します。



解析ウィンドウ

モニタウィンドウで選択されたデータを解析表示します。

```
0000057 IAM --> 0069 13:31:47 393  
ISUP(ISDN)  
DPC 27-5-31 (3EBBx) DPC 20-12-58 (7594x)  
SLS : 6 (LSN:3 A面), CIC : 6 (0006x)  
[01] アトリス  
F [06x] 接続特性表示 LEN [01x(1)]  
衛星回線 [00] なし  
導通試験 [00] 不要  
エコ制御回路 [00] 挿入せず  
F [07x] 相手方向呼表示 LEN [02x(2)]  
国内/国際呼 [00] 国内呼  
イント・イント法 [00] イント・イント法利用不可  
相互接続 [00] なし  
イント・イント情報 [00] 利用不可  
ISUPリク [01] ISUPリクである  
ISUPリク希望 [00] 希望するか必須ではない  
ISDNアクセス [01] ISDN  
SCCP法 [00] 表示なし  
F [09x] 発ユーザ種別 LEN [01x(1)]  
[0A] 一般発ユーザ  
F [02x] 通信路要求表示 LEN [01x(1)]
```

甲賀電子株式会社

〒520-3047

滋賀県栗東市手原 5 丁目 8-10

TEL : 077-552-5123 FAX : 077-552-5121

e-mail : support@koga.co.jp

URL : <http://www.koga.co.jp>